

令和5年度南部地区地域学校協働活動実践発表会

1 実践発表会概要

日時	令和5年11月22日(水) 14:00～16:00	
開催方法	実践発表動画を事前視聴の上、ウェブ開催	
参加者数	284名	
日程	1 開会行事	あいさつ 埼玉県教育局南部教育事務所長
	2 説明・質疑	北本市より補足説明、参加者より質問
	3 指導・助言	埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課
	4 グループ協議	協議テーマ「緩やかなネットワークを基盤とした地域学校協働活動の推進」
	5 閉会行事	

2 実践発表

発表校等	発表内容
<ul style="list-style-type: none"> 北本市立石戸小学校 放課後子ども教室 北本市教育委員会 	放課後子ども教室と学校・地域が連携・協働する地域学校協働活動の推進について ～石戸小学校放課後子ども教室を核としたネットワークのひろがりを目指して～

(1) 研究のねらい

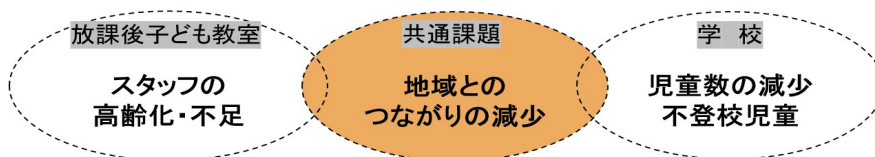
ア 研究の目的（ゆるやかなネットワークづくり）



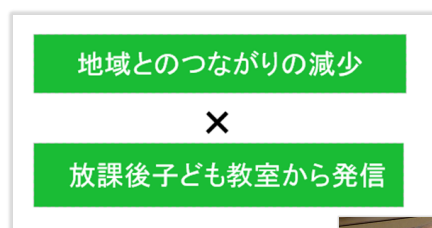
1. 多様な地域人材の発掘や充実
2. 地域住民の参画による連携・協働・支援
3. 多様で継続的な地域学校協働活動

心豊かに育まれる安心安全な居場所づくり

イ ゆるやかなネットワークづくりを構築する上での課題



(2) 地域とのつながりができるまで（放課後子ども教室を軸に発信）



西部コミュニティとのネットワーク

【グランドゴルフ】

※西部コミュニティとは北本市の西に位置する複数の自治体からなるコミュニティのことです。



石戸小学校放課後子ども教室
コーディネーター

民生委員とのネットワーク

【郷土カルタ】



地域住民との
協働活動への第一歩



学童保育室とのネットワーク
【共通プログラム・紙飛行機作り】



学校とのネットワーク
【学習の機会・身体を動かす】



元市内小学校の音楽教師による音楽の時間や教育活動サポーターによる読み聞かせ、けん玉愛好会の方によるけん玉遊び、子ども図書館の館長さんによるお話会等、地域の方々の力を借り、様々な活動を行っています。

(3) 研究の成果

(1) 「目指す子ども像」への意思や方向性を統一した活動の推進

目標や目的を共有し、計画や活動を振り返ることで、PDCAサイクルを進め、放課後子ども教室・事務局・関係団体が互いにサポートし合いながら活動を推進できた。その結果、西部コミュニティや民生委員等、新たなネットワークの創出につながった。

(2) 活動の充実（児童・保護者アンケートから）

- ・来年度も放課後子供教室に行きたいです。みんなやスタッフのおかげで、1年生からずっと放課後子供教室のふんいきはぼくにとって大切な所です。（児童）
- ・家ではなかなか進まない宿題も終わって帰宅し、本にも興味を示し、自分から借りてきて読むようになりました。（保護者）

3 参加者の感想

- ・子どもたちが今住んでいるこの場所を「ふるさと」と思えるよう、また、生まれ育ったところに誇りを持ち、「帰ることのできる場所」とするためにも、地域と学校との協働は大切であることを改めて感じた。
- ・地域と学校とが連携を密にしていくヒントとなった。まずは、教職員と学校応援団、地域のつながりを深められるような取組を進めていきたい。
- ・PTAと地域の方々が連携して、子供達の安全や成長に繋げていきたい。お願いしたいこと、地域の方々ができることをよく話し合っって擦り合わせていきたい。
- ・北本市のように市全体で取り組んでいけたらよいと感じた。
- ・学校応援団の学習支援の人材確保について、学校の枠を超えて、公民館など地域のつながりを持ち、書道やミシンなど得意な地域の方が学習支援に参加していただけるように行動したいと感じた。
- ・学校としてどのように「協働」していけるかという点や、現状として難しい点などを共有できた。地域との連携・協働によって学校の負担軽減につながることは望ましいと思う。
- ・地域学校協働活動を充実させるには、学校運営協議会と地域学校協働本部を両輪として捉える必要がある。協議する学校運営協議会委員の人選が、行動に移す地域学校協働本部に直結するようになるとよいと感じた。